



CIAM Chronicle

Center for Infrastructure Asset Management Technology and Research : Chronicle

Vol.11

ニュースレター
2016.1

新センター長あいさつ

「ME 養成講座で得られるもの」

平成27年4月より、センター長をしております沢田と申します。以後よろしくお願いたします。

社会基盤施設（インフラ）の維持管理の重要性が注目されているなか、国土交通省では、戦略的な維持管理・更新のために重点的に講ずべき施策として、技術者・技能者の育成・支援を挙げています。安全安心な社会生活のために、インフラの点検や診断ができる技術者の育成は最重要課題であり、各地で維持管理に関する研修などが開催され、建設に携わる「ひと」の重要性が認識されてきました。平成20年に開始した社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座は、これまでに14回の講座を終え、のべ309名の修了者を輩出しました。25年度からME養成講座は、岐阜大学大学院の履修証明プログラムとなり、27年度からMEは岐阜大学の認定資格となりました。平成28年度からは、ME養成講座は、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的課程として、文部科学省から「職業実践力育成プログラム」と認定されます。また、当初から連携している長崎大学をはじめ、愛媛大学、山口大学、長岡技術科学大学、舞鶴工業高等専門学校との協力関係も拡がりはじめています。このように継続発展いたしてまいりましたのも、ひとえに関係者のご支援の賜物とここに深く感謝申し上げます。

情報化と見える化により「ICT技術の全面的な活用」・「規格の標準化」・「施工時期の平準化」の3つを達成することで、調査・設計から

岐阜大学工学部附属
インフラマネジメント技術研究センター
センター長 沢田 和秀



施工・検査、さらには維持管理・更新といったプロセスの最適化による生産性の向上を目指すi-Constructionが国によって推進されます。しかし、多くのよい情報であっても、その扱いを間違えると、生産性の向上はおろか、生産すらできません。また、土木で最重要である安全を確保できなくなります。土木の目的のために、道具や方法としての情報を使いこなす知識と技術が必要であり、ME養成講座はそれらを学ぶ場所として存在します。

知識や技術は、一度修得したからといって安心していると、陳腐化します。手当てしないインフラが徐々にその機能を低下させていくことと似ています。ME養成講座は、インフラのアセットマネジメントに関連する技術を習得することを目的とした4週間の集中講座です。受講期間中に、受講生の多くが、知っておくべきことがたくさんあることに気づき、さらなる継続的な勉強が必要であることを認識します。さらに、ME認定後も土木技術者としての誇りをもって勉強し続けようという向上心を持つようです。そして、MEの会では積極的にフォローアップ研修を開催しています。

岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センターでは、ME養成の他にもインフラマネジメントに関する研究も実施しています。インフラに関する疑問や要望があれば、気軽に相談してください。

インフラマネジメント技術研究センターの概要

岐阜大学では、既存のインフラ施設に対して適切な診断と処置を行うことができる技術者であるメンテナンスエキスパート (Maintenance Expert : ME) を育成するために、平成20年度より社会基盤の整備や管理に係る社会人を対象として社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 (以下、ME養成講座) を開講しています。このME養成講座は、当初の5年間は文部科学省科学技術戦略推進費「地域再生人材創出拠点の形成プログラム」の支援を受け、また平成25年度からは岐阜大学大学院の履修証明プログラムとして進められています。また当初からME養成講座の運営等を担ってきた学内組織である社会資本アセットマネジメント技術研究センターは、平成26年4月に工学部附属インフラマネジメント技術研究センターとして新たに生まれ変わりました。

インフラマネジメント技術研究センターは、社会基盤ME養成講座の実施をはじめとしてさまざまな活動を行うために、「ひと」づくり実践領域、「しくみ」づくり開発領域、「こと」づくり展開領域の3つの領域から構成されています。

「ひと」づくり実践領域は教育・人財育成を担当しています。「ひと」づくり実践領域は社会基盤ME養成講座実施部門と教育展開部門から構成され、それぞれME養成講座の運営と教育プログラムの質の改善を継続的に進めています。ME養成講座は現在、岐阜大学大学院工学研究科の履修証明プログラムとして開講されており、講義の実施には工学研究科社会基盤工学専攻の全面的な協力を得ています。なお、ME養成講座は大学院の講義であるため、原則としては受講には大卒資格が必要です。ただし、大卒資格を有していない技術者であっても、これまでの業務経験を通して大学卒業と同等の能力を身につけていることを面接により確認できれば受講を認めるようにしており、これにより多くの技術者に対して門戸を開いています。ME養成講座の実施に当たっては、社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット運営協議会と連携することにより、講座の円滑な運営を図っています。社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット運営協議会は岐阜大学の外部に設けられた組織であり、国土交通省中部地方整備局、岐阜県、岐



岐阜測量設計業協会、岐阜県建設業協会、岐阜県建設研究センターの参画により、産官学の協力体制を構築しています。また、平成25年度より文部科学省・成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業「地域ニーズに応えるインフラ再生技術者育成のためのカリキュラム設計」の採択を受け、長崎大学、長岡技術科学大学、愛媛大学、山口大学、舞鶴工業高等専門学校との協力関係も定着して、教育プログラムの質の改善を行うとともに、人材育成の他地域への展開を図っています。さらには、ME認定者の組織であるMEの会と連携を取りながら、ME認定者のスキルアップの一環として座学やフィールド実習を実施しています。

「しくみ」づくり開発領域は地域連携・制度設計を担当しています。ここでは、岐阜県内の地方自治体およびMEの会と連携を取りながら、民・産・官・学の連携・協働によるインフラ管理が実現するしくみの構築を進めるとともに、地域住民が参加しやすいインフラ管理を実現するための枠組み探索とMEの位置づけ整理を行っています。これらに関する具体的な活動と

して、地域協働型インフラ管理のモデル事業の構築、地域協働型インフラ管理実現のための制度の構築に取り組んでいます。

「こと」づくり展開領域は研究開発と技術普及を担当しています。研究開発については、東海圏減災研究コンソーシアム、岐阜社会基盤研究所、さらには工学部社会基盤工学科をはじめとする学内外の関連組織と連携を取りながら、進めています。最先端技術のハード開発では、地域協働を想定した住民も使えるハードウェア技術の研究・実装化およびハードウェア技術革新による維持管理・減災技術の高度化・実装化を目指した研究を行っています。またハード開発に加えて、地域協働型インフラ管理実現のための社会制度・人材育成方法、合意形成手法の研究を進めています。技術普及については、ここで開発された技術のみならず、最新技術に関する講習会を開催し、一般技術者への情報提供の場を設けることで、地方技術者の技術力の向上を進めています。

「ひと」づくり実践領域 (教育・人材育成)

- 社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座の運営
- 教育プログラムの質の改善



「しくみ」づくり開発領域 (地域連携・制度設計)

- 民・産・官・学の連携・協働によるインフラ管理が実現するしくみ
- 地域住民が参加しやすいインフラ管理を実現するための枠組み探索とMEの位置づけ整理



「こと」づくり展開領域 (研究開発・技術普及)

- 地域協働を想定した住民も使えるハードウェア技術の研究・実装化
- ハードウェア技術革新による維持管理、減災技術の高度化・実装化



CIAMインフラマネジメント講演会

CIAMインフラマネジメント講演会は年3回の開催を目標にH26年度から開催されている。日頃忙しくされている地域の技術者に最新の情報を提供することを目的としている。また、メンテナンスエキスパート (ME) の継続教育にも活用できる内容を盛り込んでいる。以下に第5回までの概要を紹介する。



第1回 米国における道路橋点検と維持管理

第2回 地方における道路橋の維持管理のあり方

第3回 アメリカにおける点検資格制度と維持管理の現状

第4回 コンクリート構造物の品質確保に向けた取組み～合理的な維持管理のために～

第5回 紹介します！岐阜大土木の研究シーズ
防災・減災に資する研究開発および社会実装に関する研究紹介

第1回 米国における道路橋点検と維持管理

日時 平成26年7月15日(火) 15:00~17:00

場所 岐阜大学 サテライトキャンパス

参加者数 約70名

講師 NEXCO-West USA, Inc. 執行役員副社長 松本 正人氏

NEXCO-West USA, Inc.は、2011年1月より米国ワシントンDCに拠点を置き、米国の道路橋に対してNEXCO西日本グループの道路橋非破壊検査技術を適用すべく事業を展開している。本講演では、これらの米国での活動概要について紹介し、海外事業を展開する上での留意点、及び国際的に活躍する技術者に必要な資質等についての講演があった。さらに、様々な活動を通じて得られた米国の道路橋点検及び維持管理の現状について紹介された。

第2回 地方における道路橋の維持管理のあり方

日 時 平成26年10月17日(金) 15:00~17:00

場 所 岐阜大学工学部多目的研究教室

参加者数 約60名

講 師 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

福島県内の市町村や浜松市といった地方自治体の道路橋の維持管理のあり方について紹介された。特に、材料工学や構造工学に立脚した維持管理の重要性を指摘しつつ、住民との協働やマスコミとの情報共有なども積極的に行うことで、合理的な維持管理を行う手法が提案された。「ロハスなインフラが、ロハスな人間社会を守る」をキャッチフレーズに、健全で持続可能な社会の構築に向けたヒントが紹介された。

第3回 アメリカにおける点検資格制度と維持管理の現状

日 時 平成27年1月23日(金) 14:00~16:00

場 所 岐阜大学サテライトキャンパス

参加者数 約60名

講 師 清水建設(株)技術研究所 吉武 謙二 氏

アメリカNHI (National Highway Institute) により実施されている橋梁点検・評価手法研修コース (NHI 130055 Safety Inspection of In-Service Bridge) を修了した経験をもとに、アメリカにおける橋梁点検資格制度の概要や具体的な研修内容について紹介があった。これに関連して、アメリカでの橋梁点検の具体的な事例や課題、最新の研究について紹介された。



第4回 コンクリート構造物の品質確保に向けた取組み ～合理的な維持管理のために～

日 時 平成27年6月5日(金) 14:00～17:00

場 所 岐阜大学サテライトキャンパス

参加者数 約80名

講師 ① **山口県におけるコンクリート構造物の品質確保システムの構築**
山口県土木建築部 審議監 二宮 純 氏

講師 ② **産官学協働の品質確保の実践とその意義**
横浜国立大学 准教授 細田 暁 氏

講師 ③ **復興道路等の品質確保に向けて — 東北のコンクリート構造物の劣化傾向とその対策 —**
国土交通省東北地方整備局 南三陸国道事務所長 佐藤 和徳 氏

インフラの超寿命化のために維持管理の手法を高度化することは大切だが、そもそも新設時の品質を高めるための知恵を絞ることも本質的である。データベースに基づく品質確保の本質を理解するために、山口県から発信されているコンクリート構造物の品質確保の取組みの概要および東北の復興道路での展開について紹介された。



第5回 紹介します！岐阜大土木の研究シーズ 防災・減災に資する研究開発および社会実装に関する研究紹介

日 時 平成27年10月26日(金) 14:00～17:00

場 所 岐阜大学工学部講義室

参加者数 約90名

「南海トラフ巨大地震克服のための大学力を結集した東海圏減災プロジェクト-社会基盤メンテナンスエキスパートを活用した地域協働型インフラ管理による防災力・減災力の向上-」の活動範囲において、防災・減災に資する研究開発および社会実装に関する研究が実施されたことから、岐阜大学の11名の研究者から研究成果が紹介された。

ME活動報告

平成26・27年度活動記録(平成26年2月～平成27年12月)

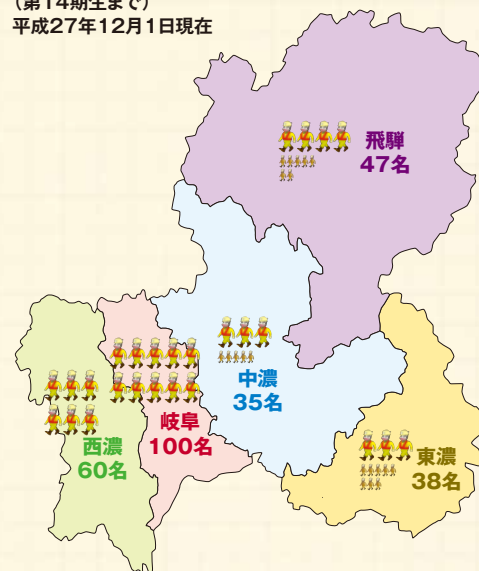
当MEの会は、MEとして活躍している会員のみならず、岐阜大学をはじめとする多くの関係各機関の皆様のおかげで運営を行っております。紙面をお借りして感謝申し上げます。

この度、平成27年度後期合格者にMEの会にご加入いただき、会員数は309名となりました。それと同時に各地域部会の所属人数が増加し、活動も活発になってきております。また本年度におきましては、地域部会以外にも様々な枠組みで活動できるよう、規約改正を行いました。これにより、地域を超えた勉強会などを開催できるようになりました。今後はこれまでよりもさらに充実した取り組みができると確信しています。

私がME及びMEの会として、活動の中で感じていることをいくつか挙げさせていただきたいと思います。

MEの会309名

(第14期生まで)
平成27年12月1日現在



① 県外からの受講者

ここ数年、岐阜県外からのME受講生が増えてまいりました。これは岐阜県のME制度が県外においても広く認知されつつある証拠であると思います。岐阜県がインフラマネジメントの先進県として県外からも注目されるよう、MEの会としても力を注いでいきたいと考えております。

② 地域とのかかわり

道路30,000km、橋梁26,000橋といった膨大なインフラを抱える岐阜県において、300余名のMEは決して多いとは言えません。MSや管理者と今後も協力をしながら、インフラの監視や構造物の点検を行い、地域住民にもより一層認識されるMEを目指していきたいと思います。また、そのことによりMEを目指す技術者が増えることを願っております。

③ 建設業界のアピール、人材育成

近年、建設産業界への入職者の減少が話題となっています。しかし、若手の人材確保は業界の維持発展において必要不可欠であります。現在は小学校での演習や高校での講演会といった活動を地域部会ごとに行っていますが、当会には建設業や建設コンサルタントだけでなく、国土交通省や岐阜県、市町村の職員も多数所属していますので、それぞれが手を携えて、将来を担う若者へのさらなる業界のアピールを行っていききたいと思います。

④ 他大学MEとの連携

岐阜大学と連携する長崎大学、長岡技術科学大学、愛媛大学、山口大学においてもME及び道守が徐々に増えつつあるとお聞きしております。他大学の素晴らしい知識や技術を身につけられた方と積極的に交流を行い、意見交換

等を通してお互いに切磋琢磨し、よりレベルの高いME、技術者を目指していけたらと考えます。

近年、地域部会等による研修や勉強会の他に、自治体よりお声掛けを頂き、共同で研修や活動をさせていただくことが増えてまいりました。最近行った活動の中より2例取り上げさせていただきますと思います。

自治体職員との木橋点検診断研修（飛騨地域部会）平成27年10月30日

下呂市が管理する木橋について、今後の管理方針についての相談が市よりMEに対してありました。MEには木橋という特殊な橋に対する知識・経験を持っている会員がほとんどいなかったため、専門家の先生のアドバイスを頂きながら、下呂市職員とMEと一緒に点検し、管理方法について討論を行う研修としました。

当日は飛騨地域部会員をはじめとするME19名と下呂市職員4名が参加し、4つのグループに分かれ現地にて点検を行いました。多くの箇所で腐朽・劣化が見られ、近接目視点検の重要性を強く感じました。また、点検結果についてまとめ、様々な角度・各々の立場から今後の管理について意見を出し合い、結果についてのグループ発表をしました。活発な議論がなされ、下呂市からも「非常に有意義な研修となった」と評価と感謝を頂きました。



神坂地区住民との協働点検（岐阜大学主催）平成27年11月17日

岐阜大学のCIAMでは、MEと地域住民が協働し、地域のインフラ管理や、減災・防災力の向上を図ることができないか検討しています。その取組の一部として、中津川市神坂地区を対象に協働点検を実施しました。当日は、MEが調べた斜面災害危険箇所を神坂地区長や防災士・消防士とともに街歩きした他、住民からの点検要望箇所と一緒に確認し、MEの視点で解説しました。座学ではMEからの情報提供、グループワークにて街歩きの感想を共有しました。協働点検を経た感想として、多くの住民にこの取組を広めていきたいことや、普段の取組として地域とMEのつながりを築いていきたいこと等が述べられました。



MEの会 活動記録 (平成26年5月～平成27年12月)

H26.5.9	MEの会総会・講演会	5.24	防災訓練 (木曾川広域)
7.25	現場見学会 (PANWALL工法)	5.28	岐阜県鋼構造建設協会歩道橋点検活動
8.7	MEフォローアップ研修 (東濃地域の地質と断層・災害)	6.6	E-MAC技術研修会 (11期生会)
9.13	合同研修会 (東海コンクリート診断士会)	6.11	講師派遣 (滋賀県建設技術センター)
10.10	DIG講習会講師 (飛騨高山高校3年生)	6.30	講師派遣 (飛騨高山高校)
11.10	橋梁点検講習会 (恵那市)	7.15	研修会 (スマホを活用した道路パトロール勉強会・他)
11.10	DIG講習会講師 (飛騨高山高校2年生)	7.28	MS委嘱式・講習会 (飛騨土木)
11.17	中津川市神坂地区協働点検	8.12	自治体職員対象研修 (揖斐川町)
11.19	自治体職員対象研修講師 (下呂市)	9.8	橋梁点検講習会 (飛騨地域・西濃地域)
11.20	自治体職員対象研修講師 (飛騨市)	9.27	MEフォローアップ研修 (岐阜大学ME認定講習)
11.20	MSフォローアップ研修講師 (古川土木)	9.30	現地研修会 (吹付コンクリート劣化等)
11.20	兎走山トンネルの点検 (岐阜地域部会)	10.6	通学路点検研修 (中津川市付知地内の小学5年生)
11.22	技術発表会 (11期生会)	10.20	防災キャンプの補助 (中津川市坂本中防災キャンプ)
11.26	MSフォローアップ研修講師 (下呂土木)	10.22	防災キャンプでの指導 (中津川市坂本中防災キャンプ)
11.26	自治体職員対象研修講師 (高山市・白川村)	10.25	MEフォローアップ研修 (岐阜大学ME認定講習)
11.27	講師派遣 (飛騨三協研修会)	10.27	講師派遣 (岐阜県建設技術協会)
12.2	講師派遣 (技術力向上セミナー)	10.30	自治体職員との木橋点検診断研修 (下呂市)
12.3	MSフォローアップ研修会講師 (郡上土木・可茂土木)	11.2	中間報告会 (スマホを活用した道路パトロール)
12.4	MSフォローアップ研修会講師 (美濃土木)	11.7	中津川市神坂地区協働点検
12.4	技術発表会 (東濃地域部会)	11.11	自治体職員との橋梁点検 (八百津町)
12.11	MSフォローアップ研修講師 (高山土木)	11.13	DIG講習会講師 (高山市立西小学校小学6年生)
H26 前後期	講師派遣 (ME養成講座)	11.14	現場見学会・座学 (11期生会)
H27.2.3	講師派遣 (ME導入講座・岐阜県建設業協会)	11.20	DIG講習会講師 (高山市立花里小学校小学6年生)
2.4	講師派遣 (ME導入講座・岐阜県建設業協会)	11.22	MEフォローアップ研修 (岐阜大学ME認定講習)
2.5	講師派遣 (高山国道事務所研修会)	12.2	自治体職員との橋梁点検 (八百津町)
2.6	熱矯正による橋梁補修見学会 (愛岐大橋)	12.2	現地研修会 (県道の落石対策 現場点検)
2.27	5大学コンソーシアムシンポジウム	12.3	地すべり事例研修 (恵那市山岡町)
3.7	現場見学会・座学 (興福地高架橋)	12.11	MSフォローアップ研修講師 (飛騨土木・可茂土木)
3.26	現場見学会 (中津川市道路改良工事、新東雲橋)	H27 前後期	講師派遣 (ME養成講座)
5.8	MEの会総会・講演会		
5.10	水防工法研修会 (木曾川広域)		

CIAMの活動報告 (H26.2～)

H26.2.4	地盤工学会中部支部（松本）において、社会基盤メンテナンスエキスパートの紹介
H26.2.26	地域ニーズに応えるインフラ再生技術者の育成シンポジウム「インフラの町医者を守るみんなの暮らし」開催
H26.2.27	中核事業連携会議
H26.3.17～ H26.4.4	平成26年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座 受講生募集
H26.6.2～ H26.6.27	平成26年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座 実施
H26.6.17～ H26.6.24	中津川市神坂地区において、MEによる地区一斉点検 実施
H26.6.23～ H26.7.11	平成26年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座 受講生募集
H26.6.25	土木学会2014年度公共調達シンポジウムにて社会基盤メンテナンスエキスパート事業の紹介
H26.7.5	岐阜市立木之元小学校 防災講座 実施
H26.7.7	建設技術協会の研修においてME養成事業紹介
H26.8.19	平成26年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）認定証授与式
H26.8.28	第7回CAESAR講演会にて社会基盤メンテナンスエキスパート事業の紹介
H26.8.22～ H26.9.19	平成26年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座 実施
H26.9.6	四日市市職員対象 道路付属物点検講習会 実施
H26.9.17	JICA研修モンゴル・キルギス来学社会基盤メンテナンスエキスパート事業の紹介
H26.10.1	岐阜市立木之元小学校 防災講座2 実施
H26.10.10	飛騨高山高校 防災講座 実施
H26.10.29～ H26.10.30	国土交通省中部地方整備局主催 建設技術フェア 出展
H26.11.18	平成26年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）認定証授与式
H26.11.19～ H26.11.21	ハイウェイテクノフェア 出展
H26.11.25	岐阜市立長良東中学校において、防災講座 実施
H26.11.26	新潟ME講演会および認定授与式にて講演および参加
H26.12.15	岐阜市立華陽小学校 防災講座 実施
H27.1.9	愛媛ME講演会および認定授与式に協力
H27.1.22	滋賀県建設業協会来学 ME養成講座の説明
H27.1.23	長崎大学シンポジウムに参加および協力
H27.1.24	中核事業連携会議 カリキュラム検討WS に参加
H27.2.3～ H27.2.4	岐阜県建設業協会関係対象 2日間ME養成講座 実施
H27.2.12	中核事業連携会議 カリキュラム検討WS に参加
H27.2.27	中核事業連携会議 開催

H27.2.27	中核事業 コンソーシアムシンポジウム「安全なみちのために」開催
H27.3.9	福井大学来学 ME養成講座の説明
H27.3.20	JST「ひとを創る。ひとが創る。地域再生フォーラム」出席ME養成事業紹介
H27.3.16～ H27.4.10	平成27年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 受講生募集
H27.5.22	第20回首長連携交流会に参加、分科会にてME養成事業紹介
H27.6.1～ H27.6.26	平成27年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 実施
H27.7.6	浜松市職員斜面点検研修
H27.7.10	浜松市職員斜面点検研修
H27.6.22～ H27.7.10	平成27年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 受講生募集
H27.8.21	平成27年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 認定授与式
H27.8.31～ H27.9.30	平成27年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座 実施
H27.9.02	日本工学教育協会工学教育賞業績部門受賞
H27.9.27	第1回目ME更新試験実施
H27.10.1	中津川市付知北小学校および付知南小学校において、通学路点検事前学習 実施
H27.10.6	中津川市付知北小学校および付知南小学校において、通学路点検 実施
H27.10.19	JICA研修生対象カンボジア ME養成講座説明
H27.10.20	中津川市坂本中学校において、通学路点検事前学習 実施
H27.10.22	中津川市坂本中学校において、通学路点検 実施
H27.10.25	第2回目ME更新試験実施
H27.10.26	JICA研修生対象アフリカ ME養成講座説明
H27.11.7	中津川市神坂地区において、地域住民とMEによる協働点検 実施
H27.11.10	熊本県橋梁上部工および土木構造物補修研修研究会来学 ME養成講座の説明
H27.11.18	瑞浪市立陶小学校において、防災講座 実施
H27.11.20	愛媛ME講演会および認定授与式に協力
H27.11.26	瑞浪市立陶中学校において、防災講座 実施
H27.11.27	岐阜市立東長良中学校において、防災講座 実施
H27.12.4	新潟ME講演会および認定授与式に協力
H27.12.11	静岡県新技術協会主催講習会にて講演
H27.12.17	SIP第2回インフラ研究会(東京大学)において、ME講座を紹介

平成28年度社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 (履修証明プログラム)

[前期]

申請書受付期間：平成28年3月22日(火)～平成28年4月14日(木)

受講資格審査面接：平成28年4月20日(水)

*面接の必要な受講申請者には個別に連絡します。

受講者発表：平成28年4月28日(木)

養成講座：平成28年6月6日(月)～平成28年7月1日(金)

*受講料については、検討中です。2月中旬にHPにてお伝えいたします。

履修証明プログラムとは

平成19年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。大学等において、通常の学生を対象とする学位プログラムに加え、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できることになりました。

CIAMの活動予定(H28.1～)

月 日	概 要
H28.1.20	浜松市技術講演会にて講演
H28.1.29	文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 連携シンポジウム「続・安全な“みち”のために」開催
H28.1.29	中核事業 連携会議 開催
H28.2.21	大垣市防災士対象講習会にて講習
H28.2.27	MEの会および東海圏減災研究コンソーシアム後援シンポジウム
H28.3.18	中津川市神坂地区における地域住民とMEの協働点検報告(仮) 開催
H28.3.22～H28.4.14	平成28年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 受講生募集
H28.6.6～H28.7.1	平成26年度前期社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座